

＼ 虫の付く季節がやってきた! /

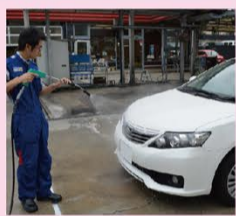
圧倒的に支持されている超ベストセラー インセクトリムーバーの使い方

夏は虫が車にたくさん付く季節。虫を気にして洗車にご来店されるお客様が増えます。「インセクトリムーバー」は塗装、コーティングを一切傷めず、浸透剤によって「虫だけ」をふやかし、簡単に虫を落とすことができます。そのインセクトリムーバーの使い方について、キーパープロショップ様から「手洗い洗車のどのタイミングで使うといいの?」という質問をいただきました。そこで、手洗い洗車を含めたインセクトリムーバーの使い方をまとめてみました。



ボディがうんと熱いときは...

夏の強い日差しにより、ボディが熱くなっているときは、水をかけて虫が付いているところを冷やします。



1 インセクトリムーバーを虫の付いている部分にまんべんなくスプレーする

こすったり、洗い流したりしないように注意します。



2 <下回り洗浄>ホイールにBDCをかけ、下回りから予備洗浄をする

この間が、インセクトリムーバーのポイントである「つけ置き」の時間になります。



3 ふやけた虫に高圧スプレーを当てて落とす

ボディ全体に泡をかける前に、ふやかした虫に高圧スプレーを当てて、簡単に落ちる分だけ落とします。



4 泡をかけ、タッチアップする

残った虫をタッチアップ時に洗い流します。ふやけているので、簡単に落とせます。ほとんどの場合この時点できれいに落ちます。



5 洗い流して拭き上げ時に仕上げ作業する

洗い流し後に虫が残っていたら、湿らせたキーパークロスでかき取ります。



インセクトリムーバーの特徴

インセクトリムーバーは、特殊な「浸透剤」によって虫に強力に浸透し「ふやかす」ことで、虫を簡単に落とすことができます。しかも、塗装面のコーティング剤やガラス面の撥水剤などは落とすことがないので、コーティング施工車に最適です。自動車塗装面やその他のパーツ(樹脂、メッキ、ガラスなど)を傷めることもありません。また、厳しいヨーロッパ基準をクリアした生分解性の高い成分だけで作られており、環境に対して優しい仕様となっています。

お徳用 4L ¥4,840 (税別)



500ml ¥790 (税別)



洗い流し後も残る頑固な虫汚れの場合は...

洗い流し後、再度インセクトリムーバーをスプレーして、2~3分つけ置き後、キーパークロスもしくはスポンジで落とします(キーパークロスをスポンジに巻いて使ってもよく落ちます)。



技術情報

クリスタルキーパー施工車に付いた「水はじきを阻害するミネラルの膜」は「レジン2」と「キーパークロス」でかき取る!

水はじきが7ヶ月で悪くなった!?

あるキーパープロショップ様より、クリスタルキーパー施工車の水はじきと比較的早く落ちてしまったと相談を受けました。聞いてみると、クリスタルキーパーを施工したお客様の車が、7ヶ月ほどで水はじきが悪くなったとのこと。

洗車して、レジンコーティングをしたが、また水はじきが悪くなる

ミネラル取り洗車のことはご存知でしたが、洗車後にレジンコーティング(レジン2)を再施工し、水はじきが復活し、お客様も喜んで帰られました。しかし同じお客様が2ヶ月ほどしてから「また水はじきが悪くなった」とご来店。

「何故?」と思ったが、再度洗車後にレジンコーティングを施工しました。その1ヶ月後にまたお客様が「また水はじきが悪くなった」とご来店され...

ミネラル被膜の上にレジンコーティングをすれば効果が低減してしまうのが原因

ここには大きな過ちがあります。クリスタルキーパーの上にミネラル分が付き、水はじき

が悪くなったところに、洗車だけしてレジンコーティングをしてしまいました。ようはミネラルの上にレジンコーティングをしてしまったのです。

キーパークロスにレジン2を吹き付けさっとかき取るだけで水はじき復活!

ミネラル取り洗車は、キーパークロスにレジン2をさっと吹き付けるだけ。塗るのではなく、レジン2をサッとつけてミネラルをかき取ればいいのです。そうすればミネラルは簡単に落ちて、水はじきが復活します。

洗車の拭き上げ時に、キーパークロスで拭き上げでもOK

もう一つ、簡単なミネラル取りの方法があります。それは洗車の拭き上げ時に、キーパークロスで拭き上げること。タオルは水の吸収力がすごいですが、キーパークロスはマイクロファイバーによる「かき取り効果」によって、薄い撥水阻害被膜をかき取ることができます。タオルと同じ大きさのキーパークロスは洗車の拭き

上げにもパッチリです。

何度もお来店いただいたお客様の車にも、キーパークロスを使ったら、すぐに水はじきが復活し、納得して大変喜んでいただけました。

相談いただいたキーパープロショップ様もすべての洗車をキーパークロスで拭き上げるようにしたら、水はじきが悪いと言われることはなくなったそうです。洗っているときに「ちょっと水はじき悪いな」と思っても、クロスでちょっとゴシゴシ拭けば、すぐに復活する施工車がたくさんあったそうです。

普段の洗車をご自分でされている方へは「キーパークロスを使って拭き上げをすると、水はじきの低下を防ぐことができますよ」とお伝えし「販売用キーパークロス」を紹介しています。



キーパークロスの特徴

キーパークロスは、特殊な折り方をしたマイクロファイバークロスです。マイクロファイバークロスとは、1d=デニール(※)以下のナイロンやポリエステルなどの極細の多角形繊維で作られたクロスです。極細繊維同士に適度な空間があり、ボディコーティング施工後に水はじきを低下させる原因である「撥水阻害被膜」をキャッチし、かき取ることができます。キーパークロスは、マイクロファイバークロスの中でも特殊な折り方をしており、「撥水阻害被膜」を安全かつ強力にかき取ります。また洗車作業に必要な高い吸水性を実現しており、洗車に最適なマイクロファイバークロスです。

※1d=1g/9,000Mの太さ

施工店様用 ¥260 (税別)

販売用 (パッケージ入り) ¥360 (税別)

